

地域研修(埼玉県) 地域研修プログラム

□ : 受講必須(基本単元) □ : 受講任意(追加単元) □ : 受講必須(調整単元)

区分	単元		時間 (目安)	単元の概要	講師
8月15日(月) 9月15日(木) オンデマンド講義(LMSを利用)	1	防災行政概要	35分	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	内閣府
	2	災害法体系	40分	防災活動の前提となる法律を学ぶ。	内閣府
	3	防災計画	25分	防災計画の基本的な知識を学ぶ。	内閣府
	4	地域の災害特性	70分	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	熊谷地方気象台
			60分	TEC-FORCEの概要や災害時の支援内容、防災に関する取り組みについて学ぶ。	関東地方整備局
	5	警報避難の枠組み	40分	避難情報判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難情報に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	内閣府
	6	被災者支援の枠組み(A)(災害救助法と仮設住宅)	50分	災害救助法の概要や応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の提供業務の仕組みと概要について学ぶ。	内閣府
	7	被災者支援の枠組み(B)(避難生活支援)	45分	災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	内閣府
	8	被災者支援の枠組み(C)(生活再建支援①)	50分	住家の被害認定調査や罹災証明書交付業務の概要について学ぶ。	内閣府
	9	被災者支援の枠組み(D)(生活再建支援②)	10分	被災者生活再建支援法の概要について学ぶ。	内閣府
	10	地区防災計画	20分	地区防災計画の位置づけや策定プロセスを学ぶ。	内閣府
	11	災害応急対策	25分	災害発生時の初動対応や心得について学ぶ。	内閣府
	12	物資調達	20分	発災前及び発災後の物資調達について学ぶ。	内閣府
	13	ISUT(災害時情報集約支援チーム)	15分	GISによる統合された情報提供の必要性和ISUTの有効性について学ぶ。	内閣府
	14	災害ボランティア	20分	行政と災害ボランティアの連携について学ぶ。	内閣府
	15	復旧・復興対策	40分	激甚災害制度や大規模災害復興法の概要について学ぶ。	内閣府
16	災害対策基本法等の改正	15分	災害対策基本法改正の全体概要を学ぶ。	内閣府	

区分	単元		時間 (目安)	単元の概要	講師	
8月15日(月) 9月15日(木)	オンデマンド講義(LMSを利用) つつき	17	災害対応力を強化する女性の視点 ～男女共同参画の視点からの防災～	50分	「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を踏まえ、男女共同参画の視点からの防災の取組について学ぶ。	内閣府
		18	災害広報(行政の視点)	36分	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	防災科学技術研究所 高島 哲夫
			災害広報(メディアの視点)	49分		エービーシー・リブラ 木戸 崇之
		19	訓練・研修企画手法	59分	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学ぶ。	宇都宮大学 近藤 伸也
		20	応急期の政府支援	15分	発災直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学ぶ。	消防庁
15分	警察庁					
14分	防衛省					
14分	国交省					
9月22日(木)	リアルタイム研修 (対面形式)	9:30	開会	10分	開会の挨拶、オリエンテーション、講師紹介など。	事務局
		9:40	災害対応過程と態度を学ぶ	120分+10分休憩	実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを学ぶ。	事務局 宇田川先生
		11:50	昼休憩	60分		
		12:50	災害対策本部における対応	160分+20分休憩	特定状況や課題に対する災害対策本部としての対応目標の設定及び対策立案を中心とする災害対応上のポイントを学ぶ。	事務局 宇田川先生
		15:50	全体討論(ふりかえり)	60分	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	事務局 宇田川先生
		16:50	閉講	10分	連絡事項、記念写真撮影など。	事務局